

# CSRマネジメント

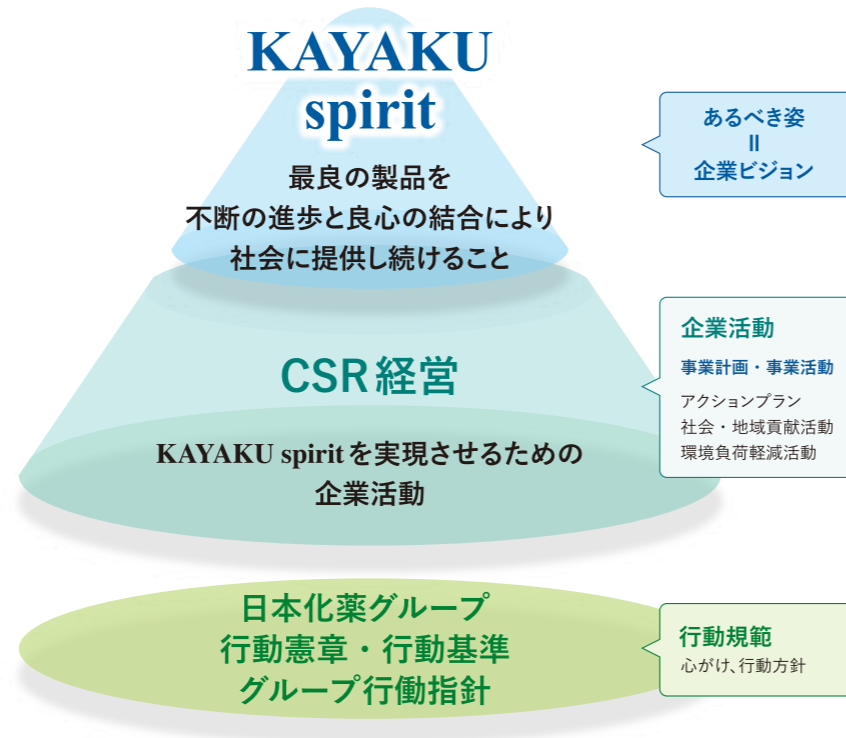
CSR Management

日本化薬グループは、KAYAKU spirit「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」を実現することにより、すべてのステークホルダーの信頼に応える CSR 経営を推進しています。

## KAYAKU spirit と CSR 経営

KAYAKU spirit の「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」は、日本化薬グループの企業ビジョンです。これは 50 年以上前に制定された社是「良心の結合」「不断の進歩」「最良の製品」をもとにして長く受け継がれてきた CSR 経営の原点です。私たちは企業ビジョン KAYAKU spirit を実現させるための社員一人ひとりの日々の企業活動そのものを CSR 経営と位置づけています。

2018 年度は、当社グループの CSR 重要課題（マテリアリティ）を特定し、中期 CSR アクションプラン 2019-2021 を策定しました。今後、進捗状況を確認・評価しながら中長期的な取り組みを継続的に進めます。



## 人権の尊重と KAYAKU spirit

KAYAKU spirit の基本理念に「良心の結合」という言葉があります。私たちは、企業活動のあらゆる側面において従業員やお取引先などすべての人びとの「人権を尊重」し、お互いに良き心をつなぐことが企業経営の基本であると考えています。

### ■人権方針

日本化薬グループの行動規範である「日本化薬グループ行動憲章」に、個人の基本的な人権およびプライバシーの尊重を定めています。また、「日本化薬グループ行動基準」では第 24 条に人権とプライバシーの尊重について謳い、国内外を問わずすべての従業員の基本行動の原則としています。

### ■従業員への人権の取り組み

日本化薬では、グループ管理本部長を委員長とする「倫理委員会」を設けています。職場でのハラスメントや人権侵害がないよう

さまざまなテーマで議論をしています。管理職をはじめ従業員に対し、人権配慮やパワーハラスメント・セクシャルハラスメント・マタニティハラスメント防止、あるいは LGBT への理解促進などについて、定期的に社内研修や外部講師を招いての講演会を開催しています。社員のダイバーシティ & インクルージョンに取り組み、いきいきと働ける職場環境づくりに継続的に努めています。

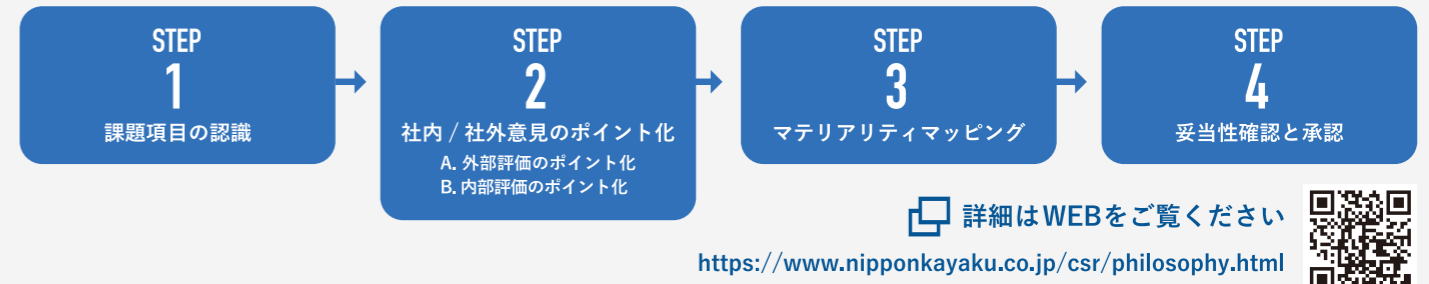
### ■CSR 調達における人権への配慮

日本化薬グループの CSR 調達の基本方針である「日本化薬グループの購買基本方針」において、日本化薬グループ行動憲章・行動基準に基づいた判断をすることを掲げています。さらに CSR 調達ガイドラインでは第 2 章「人権と労働」で非人道的な扱いや差別の禁止、強制労働や児童労働の禁止について具体的に定めています。当社グループはお取引先や協力会社とともに人権に配慮した購買活動を行います。

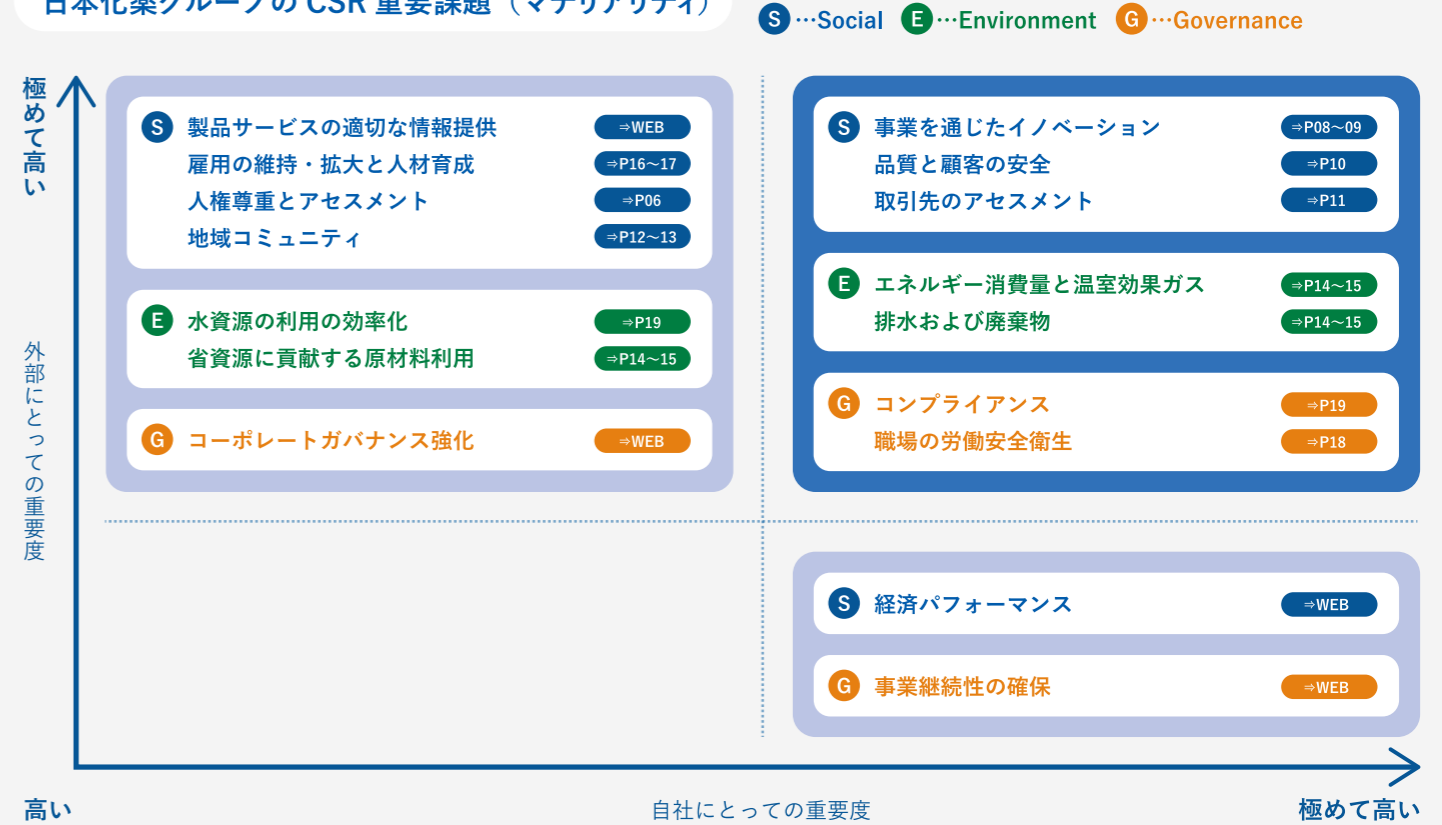
## CSR重要課題(マテリアリティ)

2019年度からの中期事業計画 **KAYAKU Next Stage** の策定にあたり、取り組むべき課題を整理し、CSR 重要課題（マテリアリティ）を特定しました。

### CSR 重要課題（マテリアリティ）の特定プロセス



### 日本化薬グループの CSR 重要課題（マテリアリティ）



## CSR 推進体制

社長を委員長とする CSR 経営委員会を 2010 年に設置し、経営戦略本部経営企画部に CSR 推進担当を組織しています。CSR アクションプランの目標や結果は CSR 経営委員会にて審議、決議してトップダウンで推進しています。また、CSR 推進担当は組織横断的な CSR プロジェクトを運営し、各部門・事業場やグループ会社が主体的に取り組む体制をとっています。

